【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【公開番号】特開2005-132149(P2005-132149A)
【公開日】平成17年5月26日(2005.5.26)
【年通号数】公開・登録公報2005-020
【出願番号】特願2003-367549(P2003-367549)
【国際特許分類】
　Ｂ６０Ｒ　21/16　　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ｂ６０Ｒ　21/32

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月26日(2006.10.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　車両の一方側面に設けられた衝撃検知手段と、前記車両の他方側面に設けられた衝撃検知手段とが同方向の衝撃を検知した場合に乗員保護装置の作動制御を行う制御装置において、
　前記車両の一方側面に設けられた衝撃検知手段の第１の衝撃値が、第１の基準値を越えたか否かを判断するとともに、前記車両の他方側面に設けられた衝撃検知手段の第２の衝撃値が、前記第１の衝撃値の示す衝撃の向きと逆向きの衝撃を示す値であるか否かを判断する第１の補正判断手段と、
　該第１の補正判断手段により、前記第１の衝撃値が、前記第１の基準値を越え、かつ前記第２の衝撃値が、前記第１の衝撃値の示す衝撃の向きと逆向きの衝撃を示す値であると判断された場合に、前記第２の衝撃値を補正する第１の衝撃値補正手段とを備えていることを特徴とする乗員保護装置の制御装置。
【請求項２】
　車両の一方側面に設けられた衝撃検知手段と、前記車両の他方側面に設けられた衝撃検知手段とが同方向の衝撃を検知した場合に乗員保護装置の作動制御を行う制御装置において、
　前記車両の一方側面に設けられた衝撃検知手段の第１の衝撃値が、第１の基準値を越えたか否かを判断するとともに、前記車両の他方側面に設けられた衝撃検知手段の第２の衝撃値が、前記第１の衝撃値の示す衝撃の向きと逆向きの衝撃を示す第２の基準値を越えている状態であるか否かを判断する第２の補正判断手段と、
　該第２の補正判断手段により、前記第１の衝撃値が、前記第１の基準値を越え、かつ前記第２の衝撃値が、前記第２の基準値を越えている状態であると判断された場合に、前記第２の衝撃値を補正する第２の衝撃値補正手段とを備えていることを特徴とする乗員保護装置の制御装置。
【請求項３】
　車両の一方側面に設けられた衝撃検知手段と、前記車両の他方側面に設けられた衝撃検知手段とが同方向の衝撃を検知した場合に乗員保護装置の作動制御を行う制御装置において、
　前記車両の一方側面に設けられた衝撃検知手段の第１の衝撃値が、第１の基準値を越え

たか否かを判断するとともに、前記第１の衝撃値と、他の衝撃検知手段の衝撃値との差に基づいて、前記車両の他方側面に設けられた衝撃検知手段の第２の衝撃値の補正を行うか否かを判断する第３の補正判断手段と、

該第３の補正判断手段により、前記第１の衝撃値が、前記第１の基準値を越え、かつ前記第２の衝撃値の補正を行うと判断された場合に、前記第２の衝撃値を補正する第３の衝撃値補正手段とを備えていることを特徴とする乗員保護装置の制御装置。

【請求項４】

車両の一方側面に設けられた衝撃検知手段と、前記車両の他方側面に設けられた衝撃検知手段とが同方向の衝撃を検知した場合に乗員保護装置の作動制御を行う制御装置において、

前記車両の一方側面に設けられた衝撃検知手段の第１の衝撃値が、第１の基準値を越えたか否かを判断するとともに、前記車両の中央部付近に設けられた衝撃検知手段の第３の衝撃値が、前記第１の衝撃値の示す衝撃の向きとは逆向きの衝撃を示す値であるか否かを判断する第４の補正判断手段と、

該第４の補正判断手段により、前記第１の衝撃値が、前記第１の基準値を越え、かつ前記第３の衝撃値が、前記第１の衝撃値の示す衝撃の向きとは逆向きの衝撃を示す値であると判断された場合に、前記第３の衝撃値を補正する第４の衝撃値補正手段とを備えていることを特徴とする乗員保護装置の制御装置。

【請求項５】

車両の一方側面に設けられた衝撃検知手段と、前記車両の他方側面に設けられた衝撃検知手段とが同方向の衝撃を検知した場合に乗員保護装置の作動制御を行う制御装置において、

前記車両の一方側面に設けられた衝撃検知手段の第１の衝撃値が、第１の基準値を越えたか否かを判断するとともに、前記車両の中央部付近に設けられた衝撃検知手段の第３の衝撃値が、前記第１の衝撃値の示す衝撃の向きと逆向きの衝撃を示す第３の基準値を越えている状態であるか否かを判断する第５の補正判断手段と、

該第５の補正判断手段により、前記第１の衝撃値が、前記第１の基準値を越え、かつ前記第３の衝撃値が、前記第３の基準値を越えている状態であると判断された場合に、前記第３の衝撃値を補正する第５の衝撃値補正手段とを備えていることを特徴とする乗員保護装置の制御装置。

【請求項６】

車両の一方側面に設けられた衝撃検知手段と、前記車両の他方側面に設けられた衝撃検知手段とが同方向の衝撃を検知した場合に乗員保護装置の作動制御を行う制御装置において、

前記車両の一方側面に設けられた衝撃検知手段の第１の衝撃値が、第１の基準値を越えたか否かを判断するとともに、前記第１の衝撃値と、他の衝撃検知手段の衝撃値との差に基づいて、前記車両の中央部付近に設けられた衝撃検知手段の第３の衝撃値の補正を行うか否かを判断する第６の補正判断手段と、

該第６の補正判断手段により、前記第１の衝撃値が、前記第１の基準値を越え、かつ前記第３の衝撃値の補正を行うと判断された場合に、前記第３の衝撃値を補正する第６の衝撃値補正手段とを備えていることを特徴とする乗員保護装置の制御装置。